

EMPEX

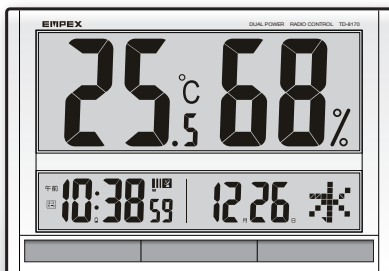
家庭用

厳密な温度・湿度
管理を行う用途に
は適していません。

ジャンボソーラー温湿度計

デジタル温度・湿度計 / 電波時計

TD-8170



取扱説明書

保証書付

このたびは、エンペックス製品をお買い
上げいただき、ありがとうございます。
正しくお使いいただくため、ご使用前
にこの取扱説明書をよくお読みください。
なお、この説明書はお使いになる方が、
いつでも見られるところに必ず保管して
ください。

もくじ

安全上のご注意	1	ご使用前の 確認
電波時計について	2	
商品構成と各部の名称	3	
操作部の見方	4	
液晶画面の見方	4	
電池について	5	
電池のセット・交換のしかた	6	使い方
ソーラーパネルについて	6	
設置場所の環境	7	
時刻を合わせる	8	
温度・湿度表示	8	
電波を受信しにくい場合	9	
設置のしかた	10	
故障を防ぐために	11	お知らせ
主な仕様	11	
アフターサービスについて	12	
修理とお客様相談窓口	13	
保証規定	裏表紙	保証書

特長

- 超大型サイズで温度（℃）相対湿度（％）を表示
- 日本標準時を電波でキャッチし、毎日自動的に時刻を修正する電波時計
- 明るい場所ではソーラーパネル発電+うす暗い場所では電池を併用
- 暗い場所では電池を節約するために液晶画面が自動的に消灯（エコモード）
- 電池交換表示機能付
- 置掛兼用

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

図記号には、次のような意味があります。



必ず 実行 必ず指示に従う



禁止 事項 絶対に行わない



警告

この表示の欄は、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。



必ず守る

●壁等に設置する際、しっかりと確実に設置する。

※固定が不十分な場合、落下するおそれがあります。



禁止

●分解・改造しない。

※事故の原因となります。



必ず守る

●電池は幼児の手の届かない所に置いてください。

※万一飲み込んだ場合には、直ちに医師に相談してください。



必ず守る

●乾電池に表示してある注意内容を必ず守る。

※守らないと発熱、破裂、液漏れによるけがや周囲汚損の原因となります。



注意

この表示の欄は、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。



必ず守る

●業務用には使用しない。

※家庭用です。専門的な計測器として使用する目的で製造されたものではありません。ご使用に当たっては、製品の特性をよくご理解の上、ご使用ください。



必ず守る

●電池は⊕⊖極を確かめ、正しく入れてください。

※故障の原因となります。



禁止

●水など、液体状のもので濡らさない。

※破損・発熱の恐れがあります。



温度計・湿度計の精度誤差などにより生じる二次災害や損害等については、弊社では一切その責任を負えませんのでご了承ください。

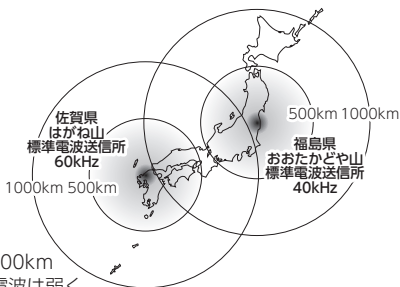
電波時計について

電波時計とは

- 情報通信研究機構運用の日本標準時を電波でキャッチし、毎日自動的に時刻を修正し表示する時計です。

標準電波とは

- 情報通信研究機構が運営している時刻情報などを含んだ電波で、福島県の大鷹鳥谷（おおたかどや）山と佐賀県の羽金山（はがねやま）から送信されています。時刻情報はセシウム原子時計を使用し、誤差がおよそ10万年に1秒と超高精度です。



受信範囲について

- 標準電波の受信範囲は、半径約1,000kmです。ただし送信所から離れる程電波は弱くなりますので、受信しにくくなることがあります。また、受信範囲内でも地形・気象状態・置き場所・向き・建物の条件などにより受信出来ない場合があります。

電波の受信について

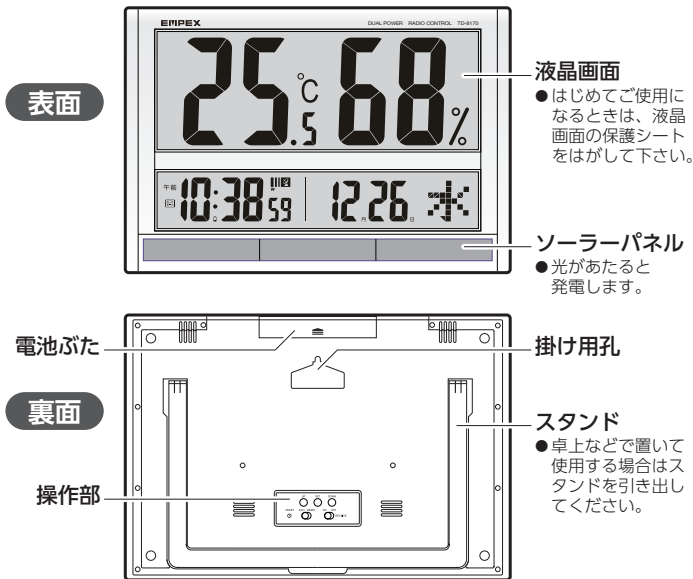
- 標準電波は、ほぼ24時間常に発信されていますが、自動受信は、1日に8回（2時、5時、8時、11時、14時、17時、20時、23時）に行います。
- ラジオ・テレビなどと同様に電波を受信しますので、窓際などは電波を受信しやすくなります。ただし、直射日光の当たる場所では使用できません。
- 受信しにくいときは、本体を送信所の方向に向け、送信所と直角になる様にするとうり受信がしやすくなります。（9ページ参照）
- 鉄筋のビル内や地下街など電波を遮断する建物内での受信は困難です。

ご注意

- 電池の不足により、受信できない場合があります。
- 標準電波は年に1回数日間、点検のため停波を行います。その他、天候（雷回避など）や事故等の影響により、一時送信が中断されることがあります。
- 電波の受信状況が悪い場合、誤動作することがあります。
※リセットボタンで再セットできます。
- 電波障害等により、受信できない場合があります。
- 電波を受信出来ない場合は内蔵のクォーツクロックで計時します。（月差±30秒）
- 日本以外の標準電波は受信できません。

商品構成と各部の名称

ご使用前に本体及び付属品をご確認ください。

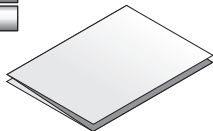


単三形アルカリ乾電池 (LR6) 2本 (補助動作用)

- 初めてお使いの場合、電池ぶた内の乾電池と本体の間に絶縁フィルムが入っています。
※ 絶縁フィルムを抜き取ってからご使用ください。
- 同梱されている電池はモニター用です。
長くはご使用いただけませんのでお早めに電池をご準備されることをお勧めいたします。
- ※ モニター用とは動作機能をチェックするためのもので、本体価格に電池代は含まれておりません。



取扱説明書 (本紙)



電池を入れないと正常に作動しません

- ソーラーパネルの発電のみでも作動しますが、電池が入っていない状態では1度暗くなると初期状態となりますので、時刻の再設定が必要です。

操作部の見方

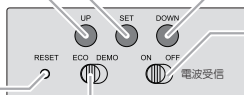
操作は壁から外して安全な場所に置いて行って下さい。

アップボタン — ● 現在時刻・日付を合わせるときに押します — **ダウンボタン**

リセットボタン

- 電池入れた時に必ず押します。静電気等の影響で、誤動作した場合、場所を変えた場合、手動で電波受信する場合にも押します

セットボタン



電波受信スイッチ

ON(電波時計)

- 電波を自動受信します

OFF(フォーツ)

- 電波を受信しません

エコモードスイッチ

ECO

- 暗い場合、液晶画面が自動的に消灯して電池の寿命を長くします

DEMO

- 強制的に液晶画面を消灯(通常 DEMO は使用しません)

液晶画面の見方

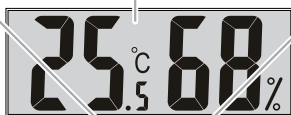
暗い場所では、エコモードにより液晶画面表示は自動的に消灯します。

受信マーク

電波の受信に成功しているとき点灯。受信中は点滅。

- E表示は福島県おたかどや山送信所からの電波を受信
- W表示は佐賀県はがね山送信所からの電波を受信

温度・湿度 ● 設置してから約1～2時間後に正しい値を示します。



月・日

曜日

現在時刻 (時・分・秒)



※画面にできるだけ触れないようご注意ください。

エコモード

- 暗い場合、電池を節約するために、このマーク以外は消灯します。

マーク

- 点灯したら、電池が消耗してきたことを示しています。(明るい場所で点滅したら、電池が入っていないことを示しています。)

⚠️ 液晶画面 (デジタル表示部) の注意



必ず守る

- はじめてご使用になるときは、液晶画面の保護シートをはがして下さい。
 - 触れないようにしてください。
 - 汚れは、乾いた柔らかい布でやさしく拭いてください。
 - 高温になると表示がみにくくなり、判読できなくなることがあります。
 - 低温になると表示の反応が遅くなる場合があります。
 - 見る方向によって表示が見えにくくなったり、ムラが見える場合があります。
 - 使用5年を過ぎると、コントラストが低下して見づらくなる場合があります。
 - 静電気を受けると誤動作して誤表示等が起こる場合があります。
- ※このような場合はリセットボタンを押してください。

電池(補助動作)について

単3形アルカリ乾電池(LR6)を2本使用します

●本製品は単3形アルカリ乾電池(LR6)が最適です。

電池寿命

ソーラー発電と併用しています。約400ルクス以上の明るい場所ではソーラー発電で駆動するので、電池寿命は長くなります。

●1日あたり 明るい場所(約400ルクス以上)で16時間 / 暗い場所(約5ルクス以下)で8時間エコモードで使用した場合の電池(補助動作)の寿命は約1年です。

※上記の寿命はアルカリ乾電池で室温25℃の場合です。

使用環境の温度などにより、乾電池の寿命が短くなる場合があります。

●うす暗い場所(約5ルクス以上400ルクス未満)で液晶画面表示が薄くなってきたり
🔍マーク点灯したら、電池が消耗してきたことを示しています。電池からの液もれを防ぐために早めに新しい電池に交換するか、電池を取り出してください。

- 付属の電池はモニター用のため、長くはご使用いただけませんのでお早めに新しい電池と交換してください。
- ※モニター用とは動作機能をチェックするためのもので、本体価格に電池代は含まれておりません。



注意

電池の使い方を間違えますと液もれや破裂の恐れがあり、機器の故障やけがの原因となります。



必ず守る

- 幼児の手の届かない所に保管する。
※万一飲み込んだ場合には、直ちに医師に相談してください。
- ⊕⊖極を確かめ、正しく入れる。ショートさせない。
- 使用推奨期限内の乾電池を使用する
- 電池交換は必ず同一のメーカー・種類の新しい乾電池を2本同時に行ってください。
- 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。
- 傷をつけたり、分解しない。
- 乾電池は充電しない。また充電式乾電池を使用しない。
- 使い切った電池はすぐに取り出す。
- 電池が消耗すると、表示が薄くなる・消える、誤動作をする等が起きます。速やかに新しい電池と交換してください。
- 長期間使用しないときは、電池を取り出しておく。
- 乾電池に表示してある注意内容を必ず守る。



禁止

廃棄

- 電池にハンダ付けしない。
- 違う種類の電池や新旧の電池を混ぜて使用しない。
- 液漏れがあった場合は液に直接触れずにふきとる。
※液は有害です。液がついたら、すぐに水道水でよく洗い流してください。
- 使用済み電池は、市町村の条例に基づき廃棄してください。
※火にいれると破裂の原因となり危険です。
- 使用済みであっても、必ず端子 ⊕⊖ を粘着性のテープ等で巻き付け、個々にビニール袋に入れるなど電池の絶縁をして下さい。
※電気容量が残っていると他の金属と接触して発熱・破裂・発火の恐れがあり危険です。

電池のセット・交換のしかた

初めてお使いの場合、乾電池と本体の間に絶縁フィルムが入っています。

※絶縁フィルムを抜き取ってからご使用ください。

1 本体裏面の電池ぶたをはずす

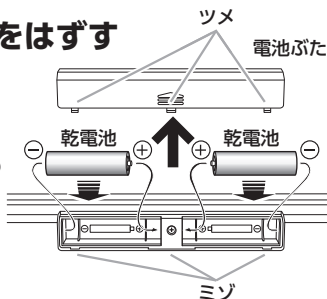
電池ぶたの ≡ 部を軽く押しながら、矢印の方にゆっくりと開けます。

2 乾電池を入れる

古い電池を取り出し新しい乾電池の (+) (-) を確認して、入れる。

3 電池ぶたを閉める

電池ぶたのツメを本体のミゾに合わせて、閉めます。



電池のセットまたは交換後は、リセットボタンをおしてください。
初期状態となりますので、時刻を合わせてください。(7ページ)

ソーラーパネルについて

動作電源はソーラー発電と単三形アルカリ乾電池 (LR6) × 2の二つを使用します。約400ルクス以上の十分な光量が得られる場所では、ソーラーパネルが発電した電力だけを使用し電池の寿命を延ばします。約400~5ルクスの場所では乾電池がソーラー発電の不足分を補って駆動し、5ルクス以下の場所では電池のみで動作し、電池を節約するために液晶画面表示が消えます。(エコモード) ソーラーパネルおよび補助電源には特性がありますので、下記の注意をご理解の上、ご使用願います。

⚠ ソーラーパネルの注意



必ず守る

- 表面が汚れていると発電効率がさがります。
- 汚れは、乾いた柔らかい布でやさしくおふきください。
※ 汚れがひどいときは、ごく少量の中性洗剤をうすめて固く絞った柔らかい布でふいてください。
- 屋内用ですので直射日光を浴びるとソーラーパネルは劣化し、発電効率が悪くなる場合があります。

設置場所の環境

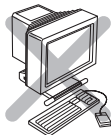
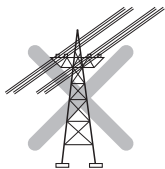
空気が良く循環する、安定した場所を選び設置してください。
室内のなるべく明るい場所でご使用ください。

つぎのような場所では使わないでください

- 本体の周囲温度が 0℃以下または 50℃以上の場所。
- 直射日光・雨・雪が直接当たる場所。
- 冷暖房器具、加・除湿器具、火気・熱器具などの近く。
- 強い磁気のある場所。例えば、大型スピーカー、大型モーターの近く等。
- 振動の激しい場所や衝撃を受ける場所。例えば車中や工事現場など。
- 水や、液状のものがかかる場所。
- ガスが発生する場所。例えば温泉場など。

つぎのような環境では標準電波を受信出来ない場合 や誤った表示をすることがあります。

- 工事現場・空港の近く・交通量の多い場所。
- 高圧線や電波塔、電車の架橋の近く。
- 電波ノイズを発生させるものの近く。
- テレビ・冷蔵庫などの家庭電化製品の近くや、
パソコン・ファクシミリなどのOA機器、蛍光灯等の近く。
- ビルやマンションなどの鉄筋建造物の中、地下、山の裏側等。
- 朝夕の時間帯や天候(特に雨や雷)によって受信できない場合があります。
- スチール机などの金属製家具の上や金属性の壁面。
- 金属製の雨戸やブラインド・アルミサッシ等の近く。



海外での使用について

日本以外の標準電波は受信できません。
海外で使用する場合には、電波受信をOFFにしてご使用ください。

時刻を合わせる

- 使用したい場所の近くで、安全な場所に置いて行ってください。
- はじめてご使用になるときは、液晶画面の保護シートをはがしてください。はがした保護シートは不要です。液晶画面を強く押しついたり引っ掻いたりしない様ご注意ください。

1 電池をいれます

「電池のセット・交換のしかた」を参照してください。

2 電波受信スイッチをONにする

裏面の電波受信スイッチをONに、エコモードスイッチをECOの位置に合わせます。

標準電波を利用せずに、手動で時刻を合わせる場合は、電波受信スイッチをOFFに合わせ次項 **時刻を手動で設定します** をお読みください。

3 リセットボタンを押す

裏面操作部のリセットボタンを押してください。
即座に **III** マークが点滅し電波受信を開始します。

ボールペンの先などでやさしく押してください

4 電波を受信できたか確認します

受信に成功すると点滅していた **III** マークが点灯します。時刻設定は完了です。
受信時間は通常数分～最長で16分程度です。

受信成功



III マークが点灯しない場合

点滅していた **III** マークが消灯した場合は電波の受信に失敗し、表示されている時刻は正しくありません。

受信失敗



次ページ「電波を受信しにくい場合」をご覧ください。

温度・湿度表示

- 設定の必要はありません。設置してから約1～2時間後に正しい値を示します。
内部にあるセンサーで計測しています。電池を入れた後または設置場所を変えるなど環境が変化した場合、正しい値になるまでには時間がかかります。
また急激な温度・湿度変化がおきた場合も同様に時間がかかります。
- 業務用ではありません
厳密な管理を行う用途には適していません。
- 計測は、4分に1回計測して表示します。
- 電波受信中は温度・湿度の計測を一時中断します。
- 測定範囲外の表示
温度-20度未満はLLL表示、60℃を超えるとHH表示となります。
湿度20%未満はLLL表示、95%を超えるとLLL表示となります。
温度が0℃～60℃の範囲外では湿度は--表示となります。

電波を受信しにくい場合

場所を見直して受信をやり直します

電波受信は地形・気象状態・建物の条件などの影響を受けています。7ページの「設置場所の環境」を参照し、電波を受信しやすい場所に設置してください。また、2ページの日本地図を参考にして、本体を送信所の方向にと直角になるようにするとより受信がしやすくなります。

以上を参考にして本体の場所や向きをかえて、再度**手動受信**させてください。

送信所



手動受信

裏面操作部のリセットボタンを押してください。
即座に **||||** マークが点滅し電波受信を開始します。

電波を受信出来ない場合

(クォーツクロックとしてお使いいただく場合)

※標準電波は送信所の点検や天候（雷回避など）、事故等の影響により、一時送信が中断されることがあります。送信状態について「情報通信研究機構」のホームページで確認することができます。

時刻を手動で設定します

1 設定する項目を選びます

裏面のセットボタンを約2秒間押し続けます。設定状態に切り替わり西暦年が点滅します。セットボタンを押すと、以下の順に設定出来る項目が点滅し切り替わります。



2 設定します

アップボタン、ダウンボタンを押し、時刻・日付を合わせます。

アップボタン UP SET DOWN **ダウンボタン**

点滅箇所の数字が進みます ● ● ● 点滅箇所の数字が戻ります

- 時刻設定の場合はボタンを押したタイミングで00秒となります。
- 設定時、押し続けると早送り、早戻しができます。

●設定中何も操作をおこなわないと、約30秒後に自動的に通常表示に戻ります。

3 完了します

セットボタンを押し、通常表示にしてください。

※電波状態が良くなる深夜に自動受信ができる場合があります。

1度受信できなかった場合も場所を再確認して1週間様子を見てください。

●自動受信をやめてクォーツクロックとしてお使いいただく場合

(誤受信を防止する場合やわざと時刻をずらしてご使用になりたい場合)

裏面の電波受信スイッチを OFF の位置に合わせます。

設置のしかた

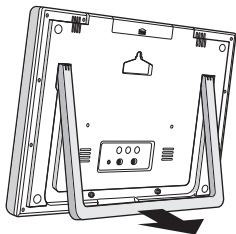
設置の場所で、電波受信の状況が変わる場合があります。設置の場所は、前項「設置場所の環境」を参照した上、照明が当たる場所をおすすめします。

置いて使用する場合

本体裏面のスタンドを引き出すことで、卓上などで置いて使用できます。スタンドをゆっくりと引き出し、固定される位置まで引き上げて平らな面に置いてください。スタンドを使用しないときは元の位置に収納してください。

無理に曲げすぎないように注意して下さい。

※無理な力がかかると破損します。

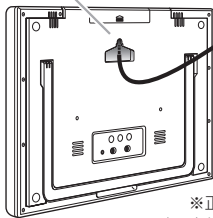


掛けて使用する場合

取り付ける壁面の材質に合ったネジ等を使い、製品荷重(約1,200g)に耐えられるようにしっかりと真つすぐに固定してください。

掛け用孔

掛ける



ネジ

ぐらつかないように、しっかりと固定して掛けます。

柱またはしっかりと壁

※ネジの高さを調節します。



※正しく取り付けられていることを確認してください。

※壁や本体を痛めたり汚す場合があります。ご注意ください。



注意

製品荷重に長期間耐えられない壁や、想定される振動や外力に耐えられない場合、落下する恐れがあります。

ネジ類は同梱されておりません。



必ず守る

●掛けるネジは壁面の構造や材質を確認の上、本製品の重さ(約1,200g)に耐えられる市販品をご使用ください。

※現在の建物には様々な建材が使用されており、木製だけでなくコンクリートや石膏ボード等の壁があります。このためDIY店等では、材質に合ったネジやクギが販売されております。

●ネジがぐらつかないように、しっかりと固定して掛けます。

※固定が不十分な場合、落下することがあり危険です。

※風や振動でも落下しない様に注意してください。

※取付けネジのしまり具合を確認し、時計を掛けた際も、正しく掛かっていることを確認してください。

故障を防ぐために

取扱いについて

- 精密機械ですので乱暴に扱ったり、強いショックは与えないでください。
- 分解して内部に触れたり、調整したりしないでください。
- 寒いところから暖かい場所への移動など急激な温度の変化を避けてください。
※結露をおこしたときは、風通しのよい場所で乾燥させてからご使用ください。

日常のお手入れについて

- ケースの汚れを落とすとき、シンナー、ベンジン、ミガキ粉、スプレー式クリーナー、各種ブラシなどは使用しないでください。油污れなどは、やわらかい布に中性洗剤を浸しよくしぼってから拭き、乾拭きをしてください。



主な仕様

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

品番：TD-8170	
表示内容	温度・湿度、時間（「午前」・「午後」表示付）日付（月・日・曜日）
電源	屋内用太陽電池（明るさ：400ルクス以上） 単3形アルカリ乾電池×2【JIS規格LR6】（明るさ：5～400ルクス） 注意：必ず2本同時に新しい同じ乾電池に入れ替えて下さい。
省電力モード （ECOモード）	明るさが約5ルクス以下で、省電力モード（ECO）モード。 自動で消費電力を節約するために液晶画面の表示が消えます。
電池寿命 （アルカリ乾電池）	約1年（明るい場所（約400ルクス以上）16時間/日、暗い場所（約5ルクス以下）8時間/日、使用した場合）
使用温度範囲	0～50℃
寸法・質量	約404 x 277 x 21 mm 約1,200g（電池含む）
本体材質	ABS樹脂
温度・湿度（相対湿度）	
温度表示範囲	-20～+60℃（ただし使用温度範囲0～50℃）
温度計精度	±1℃以内（10～+40℃） ±2℃以内（左記以外）
湿度表示範囲	20～95%rh ※使用温度範囲0～50℃
湿度計精度	±5%rh以内（50～70%rh:温度21～33℃時） ±8%rh以内（左記以外）
表示単位	温度計：0.1℃ 湿度計：1%
サンプリング	4分
クロック・日付	
標準電波	自動受信（2時、5時、8時、11時、14時、17時、20時、23時） 手動受信（随時） 福島県/佐賀県送信所自動選択受信により自動時刻修正
時間表示精度	電波受信を行わない場合（クオーツ）平均月差±30秒
カレンダー	フルオート（2069年12月31日まで修正不要）2069年まで対応

アフターサービスについて

■ 販売店の方へ

保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

- 保証期間内に、正常な使用状態で万が一故障した場合には、弊社サービスセンター又はお客様相談室にお問い合わせ下さい。
- 保証内容は、保証規定に記載した通りです。
- この製品の補修部品の保存期間は製造打ち切り後5年間です。
※補修部品とは製品の機能を維持するために不可欠な本体部品です。
- 修理のとき、必要な部品や付属品などは一部代替品を使用させて頂く事もありますので、ご了承下さい。
- 保証期間が過ぎても補修部品の保存期間中は原則として有料修理が可能です。
- 修理可能な期間は、ご使用条件により著しく異なるため、精度等が元通りにならない場合がありますのでご了承下さい。
- 贈答品や転居後についてはお客様相談室へご相談下さい。
- 修理ご依頼の場合は、下記欄に必要事項を記入してください。

受付年月日	修理内容	確認印

修理とお客様相談室

修理などの相談窓口

- 修理のご依頼及びお問い合わせは「サービスセンター」にて承っております。
- 修理のご依頼を頂く場合は、次の事項を明記の上、製品と一緒に送付して下さい。

- ◇お客様名
- ◇お客様住所
- ◇お電話番号(ご連絡先)
- ◇E-mailアドレス(お持ちの場合)
- ◇製品名(または製品番号)
- ◇故障状況(修理の依頼内容を詳しく)
- ◇ご購入された時期、ご購入店
- ◇保証書の有無(保証期間内の場合)
- ◇有料修理となる場合見積必要の有無

・当商品の保証書にご記入されたお客様の個人情報、商品の修理・交換の商品発送に使用します。又、弊社からの各種情報提供のために使用する場合があります。それ意外に使用したり第三者に提供することは一切ございません。

エンペックス気象計株式会社 サービスセンター

〒023-0001 岩手県奥州市水沢区卸町3番地16

☎0197-22-2853

受付時間 平日9:00~17:00

※土日祝日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

使い方などの相談窓口

- お客様相談室では製品に関するお問い合わせや、製品の機能や操作、使用方法、ご意見等を承っております。

お客様相談室 〒141-0031 東京都品川区西五反田7-22-17 TOCビル

☎050-3784-5591

受付時間 平日9:00~17:00

※土日祝日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

- E-mailでのご相談は、弊社ホームページよりお問い合わせください。

エンペックス気象計株式会社ホームページ

<http://www.empex.co.jp>

保証書

保証規定の内容により無料で修理及び調整を行うことをお約束するものです

機種名	TD-8170	保証期間:お買上げ日より本体1年間
お買上げ日: お客様名: ご住所: お電話番号:		
販売店名:		

■保証規定

- 1.説明書の注意に従った正常なご使用状態で万が一故障した場合は、お買上げ後1年間、無料で修理いたします。尚、故障の内容によりましては、修理に代わって同等品と交換させていただくことがあります。
- 2.修理の必要が生じた場合は、製品に本証を添えてお買上げ店または弊社サービスセンターへご持参またはご送付ください。
- 3.保証期間内でも次の場合は、有料修理となります。
 - 誤用・乱用・および扱い不注意による故障
 - 火災・地震・水害及び盗難等の災害による故障
 - 不当な修理や改造及び異常電圧に起因する故障
 - 使用中に生じたキズなどの外観上の変化
 - 消耗品及び付属品の交換
 - 本保証書の提示が無い場合および必要事項(お買上げ日、販売店名等)の記入が無い場合上記有料修理の場合、送料はお客様のご負担となります。
- 4.当製品の故障又はその使用上生じた損害については当社はその責に任じません。
- 5.保証規定により修理を実施した場合は、修理報告書により修理内容をご報告します。
- 6.本保証書は日本国内においてのみ有効です。また、本保証書は再発行はいたしませんので、大切に保管してください。

This warranty is valid only in Japan

- ※本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ※保証書に記入されたお客様の個人情報、製品の修理・交換の製品発送のみに使用します。また、弊社からの各種情報提供のために使用する場合があります。それ以外に使用したり第三者に提供することは一切ありません。

販売元:エンペックス気象計株式会社

〒141-0031東京都品川区西五反田7-22-17 TOCビル
お客様相談室 TEL(050)3784-5591